

ゆうあい



特別養護老人ホーム ゆうあいホーム / 大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里
ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所 / デイサービスセンターゆうあいホーム
訪問介護事業所ゆうあい / 居宅介護支援事業所ゆうあい / 大竹市在宅介護支援センター
小島新開の家デイサービスセンター / 小島新開の家デイサービス事業所
発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男

2006年新年明けましておめでとうございます



新年早々寒い日々が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。インフルエンザも注意報から警報へとますます注意と予防の徹底が呼びかけられております。特に予防接種されているにもかかわらず罹る方もおられますが、予防接種の効果で比較的症状は軽いようです。外出先から帰られたときには必ず嗽をされ一段とインフルエンザ予防されますようご注意ください。

さて今年は、介護保険制度の見直しの施行される年であり、全体的には超・少子高齢社会の流れの中で、社会保障費について毎年8000億円の自然増が見込まれるため、総枠抑制の施策が打ち出されてきております。具体的にはホテルコストと介護予防事業の導入等であり、予算的には単価設定の際の配分のあり方について適正化していくというものであります。

そういう状況の中で私どもの2006年度の基本的な処遇等の方針並びに計画につきましては施設サービスではユニットケアの推進、ターミナルケア体制、感染症対策体制の充実等であり、看護体制の充実と利用者中心の介護を目指した介護体制の充実がポイントであると思っております。また、在宅サービスでは介護予防プログラムの導入と中重度要介護者へのサービスの充実等であり、幅広く利用者及び家族介護者の自立支援とそのための援助を進めていくことといたします。現在、介護報酬は総枠マイナス0.5%が示され、在宅ではマイナス1%、施設では養護と併せて±0%と示されております。具体的な配分につきましてはプロセスを重視するという方針が示されており、それぞれの事業所ごとにいかに利用者・家族介護者の健康を守り、維持し、改善していくかについて工夫しているかが求められているのではないかと考えております。各事業所ごとに創意工夫等進めていく年であると思っております。どうかこの一年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。(施設長 立山 道男)